学校番号	４０５

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２	年次	１
使用教科書	「新現代社会」（第一学習社）、　標準高等地図（帝国書院）						
副教材等	「ライブ！現代社会 2020」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代社会をみてみると、対立と合意の連続である。意見の違いをどのように合意に導いていくか、言語活動を通して、学んでほしい。

２　学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探究の精神に基づき，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに，社会の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断し，その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	ノート	定期考査 ノート	定期考査 ノート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	環境と私たちの生活	・かけがえのない地球 ・地球環境のいま(1) ・地球環境のいま(2) ・私たちの地球を守るために	○	○	○	○	a 地球規模の環境問題にはどのようなものがあるかを，書籍やインターネットなどを用いて調べ，理解する。 b さまざまな環境問題と人間の活動とのかかわりについて，教科書掲載の写真や地図を使いながら理解する。 c 環境問題への国際的取り組みを踏まえ，自然と共生するよりよい環境を次の世代に引き継ぐためにはどうしたらよいか考える。 d 地球の温暖化対策や森林破壊への考察を通して，幸福，正義，公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。	定期考査 ノート
	私たちの生活 資源・エネルギー問題と	・限りある資源 ・資源問題の解決をめざして	○	○	○		a 資源の有限性について理解を深め，原子力発電の問題を例に，資源・エネルギー問題について多角的に考える。 b 資源・エネルギー問題について，書籍やインターネットなどを用いて調べ，理解する。 c エネルギー政策の見直しとともに新エネルギーの現状について理解し，省エネルギーと循環型社会について考える。	
	青年期と自己の形成	青年期とは ・青年期を充実させるために ・自立に向けて ・伝統や文化とのかかわり ・社会とのかかわり ・私たちの生きがい	○	○ ○	○ ○	○ ○	a 人生の中で青年期はどのような意味をもつのか考え，青年期におけるさまざまな悩みと，それを克服するためにはどのようにすればよいか考える。 b 伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察する。 c 職業のもつ意味，社会に参加することの意義について書籍やインターネットで調べ，一人ひとりが社会づくりに参画していく必要のあることを理解する。 d 生涯にわたって学習することの意義を考える。	
	個人の尊重と法の支配	・個人と国家 ・基本的人権と法の支配 ・世界の政治体制	○	○	○		a 私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め，国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 b 基本的人権が保障されるにいたった経緯を，さまざまな情報手段で資料を収集し，具体的事例をあげて考察し，理解する。 c 世界のおもな政治体制について教科書の図などを使って理解し，真の民主政治の実現と関連させて考察する。	

2学期	私たちの町と政治	現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と日本の安全保障 ・冷戦終結後の防衛問題 ・平等に生きる権利と自由に生きる権利 ・豊かに生きる権利 ・新しい人権 ・基本的人権と公共の福祉	○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a 日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較，天皇の地位の変化，日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 b 平和主義をめぐって，どのような動きがあったのかを理解する。また，自衛隊をめぐる問題について理解する。 c 日米安保体制はどのような背景から生まれ，どう変化してきたのか理解する。 d 身のまわりの偏見や差別・不平等，自由権が保障されていない問題について調べ，その解決策を考える。	定期考査 ノート
			・国会の運営と権限 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・法と私たちの生活	 ○	○	 ○ ○		a 議会制民主主義とはどのようなものか，国権の最高機関である国会について理解する。 b 議院内閣制のしくみ，内閣の組織と権限について理解し，行政の民主化のために何が必要か考える。 c 裁判所のパンフレットなどを入手して裁判員制度を含む公正な裁判のための制度について理解する。また，憲法を守るための裁判所の権限について理解する。	
	国際政治の動向と私たちにできること	国際政治の動向と日本の役割	・国家主権と国際法 ・国際連合の役割 ・第二次世界大戦後の国際社会 ・冷戦終結後の国際社会 ・核兵器の廃絶と国際平和	○	 ○ ○	 ○	 ○	a 主権国家とはどのようなものか，国際社会における国際法の役割と限界について理解する。 b 国連の成立，役割と課題について理解する。 c 第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について，年表を使って整理し，理解する。 d 核兵器を廃絶するためにどのような取り組みがおこなわれているか，また，国際平和のために何をしなければならないか，さまざまな情報手段を活用して調べ，まとめる。	
3学期	私たちの町と経済	現代の経済社会と私たちの生活	・経済体制の変容 ・現代の企業 ・市場のしくみ ・経済成長と景気変動	○ ○	 ○ 	 ○ 	 ○	a 私たちの生活と密接にかかわる経済の基本的なしくみを理解し，資本主義経済と社会主義経済の特徴を理解する。 b 企業の活動内容，企業の負っている社会的責任について理解し，株式会社の特徴についてまとめる。 c 市場の基本である「需要と供給との関係」について，正しく理解する。 d 国民所得について，教科書に掲載されている図版を適切に使用し，理解する。 ・景気変動について理解し，・経済成長は生活にどのような変化を与えるかを，具体的事例をあげて考える。	

		⑥財政のしくみと税金 ⑦金融機関のはたらき ⑧戦後日本経済のあゆみ ⑨日本経済の現状と展望 ⑩技術革新の進展と産業構造の変化 ⑪中小企業の現状と役割 ⑫食の安全とこれからの日本の農業	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a 政府はどのような経済的役割をもっているかを理解する。 b 財政にはどのような機能と役割が求められているか，日本の財政の課題は何かを理解する。 b 金融機関の果たしている役割，中央銀行の金融政策について理解する。 c 第二次世界大戦終結から現在まで，日本の経済発展のあゆみについて年表を使って理解し，現在の日本経済の課題と新たな取り組みについて考える。 c 中小企業の現状と役割について理解する。 d 日本の農業政策の推移を理解し，これからの日本の農業，食料政策などの問題について考える。	定期考査 ノート
国際経済の動向と私たちにできる	国際経済の動向と日本の役割	・国際分業と貿易 ・国際経済体制のあゆみ ・国際収支と為替相場 ・国際経済の動向 ・進む地域的経済統合 ・発展途上国の経済と南北問題 ・国際社会のこれから	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○	a 自由貿易と保護貿易の違いを考え，自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割を理解する。 b 自由貿易推進のために国際的な協調体制がとられてきた経緯を理解し，国際収支の変化，為替相場の変動が経済に及ぼす影響を理解する。 c 貿易の意義，円高・円安の生じる理由，経済のグローバル化について考え，身近な事例をもとにレポートを作成するなど，適切に表現する。 d 国際経済機構や地域的経済統合にはどのようなものがあるか理解する。	
	民主社会に生きる倫理	豊かな人生を求めて ・日本の伝統的な考え方 ・近代の西洋社会に見られる考え方 ・近代市民社会から大衆社会へ ・他者とともに生きる ・豊かな社会の実現に向けて	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a 哲学や宗教の役割を理解するとともに，人生を豊かに生きるとはどういうことなのかを多角的に考察する。 b 日本の伝統意識を理解し，生活の中での仏教や儒教，西洋思想の影響について，具体的事例をあげて考察する。 c 人間の尊厳や科学的なものの考え方，民主的社会を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため，図版や原典資料を適切に使用する。 d 平等な社会の実現には，偏見を取りのぞき，主体的に努力することが求められていることを理解する。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。